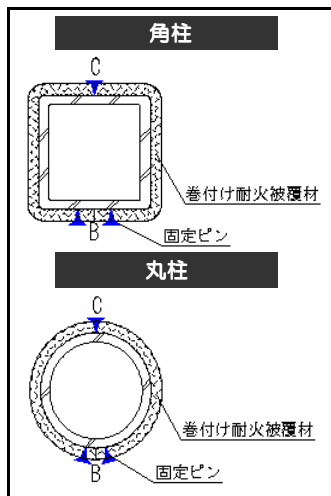
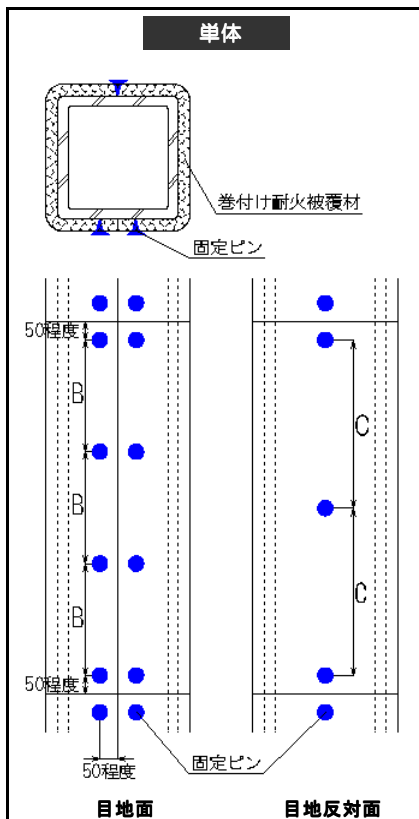
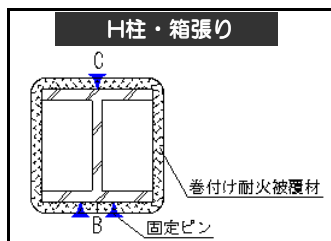


### 巻付け耐火被覆材 施工仕様一覧表

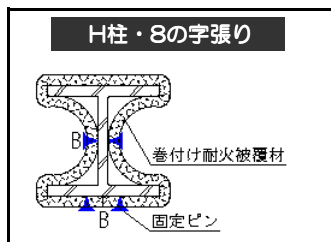
#### 角柱、丸柱、H柱（単体構造）



耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	目地面留付		目地反対面留付		認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	
1	20	□-300×300×9 φ373×9及びφ300×12	300	4本	※400	3本	FP060CN-0081
		□-150×150×9 φ182×9及びφ150×12	270	4本	※400	3本	FP060CN-0406
	40	制限なし	250	5本	250	5本	FP060CN-9390
2	40	□-300×300×12 φ369×12及びφ300×16	300	4本	※400	3本	FP120CN-0157
	65	□-150×150×9 φ182×9及びφ150×12	230	5本	※400	3本	FP120CN-0407 △
3	65	□-300×300×16 φ365×16及びφ300×19	230	5本	※400	3本	FP180CN-0408 △



耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	目地面留付		目地反対面留付		認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	
1	20	H-300×300×10×15	300	4本	※400	3本	FP060CN-0005
		H-150×150×7×10	300	4本	※400	3本	FP060CN-0243
2	40	H-300×300×10×15	300	4本	※400	3本	FP120CN-0007



耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	目地、ウェブ面留付		認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	
1	40	制限なし	250	5本	FP060CN-9392

**共通適用事項**

・鉄骨寸法：記載寸法以上

・留付ピッチ(B、C)：記載寸法以下

※補助ピン:300×300以上の鉄骨の場合、施工することが望ましい。(認定上必要なピンではないが、補強等の目的で施す。)

注)この施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

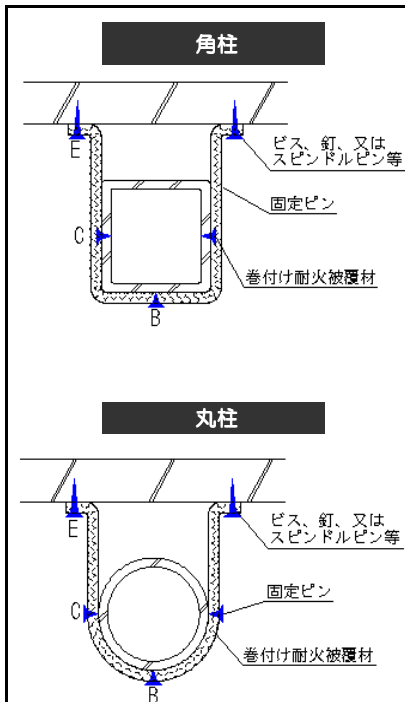
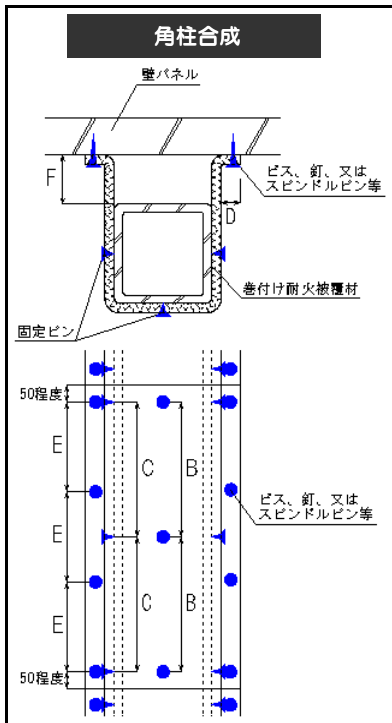
施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

また、施工現場の状況に応じて、補助ピンを追加し施工して下さい。

作業用

巻付け耐火被覆材 施工仕様一覧表

角柱、丸柱 (ALC、PC、ECP、鋼板パネル合成構造)



ALC合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	□-300×300×9 φ373×9及びφ300×12	—	—	400	3本	50	300	4本	*250	75	FP060CN-0160
		□-150×150×6 φ185×6及びφ150×7.9	—	—	※400	3本	50	300	4本	*100	75	FP060CN-0175
	40	制限なし	—	—	250	5本	50	250	5本	100	75	FP060CN-9393
2	40	□-300×300×12 φ369×12及びφ300×16	400	3本	—	—	50	300	4本	*250	75	FP120CN-0163
PC合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	□-300×300×9 φ373×9及びφ300×12	—	—	400	3本	50	300	4本	*75	100	FP060CN-0146
2	40	□-300×300×12 φ369×12及びφ300×16	—	—	400	3本	50	300	4本	*100	75	FP120CN-0151
ECP合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	□-300×300×9 φ373×9及びφ300×12	—	—	400	3本	50	300	4本	*75	60	FP060CN-0136 FP060CN-0139
2	40	□-300×300×12 φ369×12及びφ300×16	—	—	400	3本	50	300	4本	*100	60	FP120CN-0141 FP120CN-0144
鋼板パネル合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	□-300×300×9 φ373×9及びφ300×12	—	—	400	3本	50	300	4本	450	50	FP060CN-0286

共通適用事項

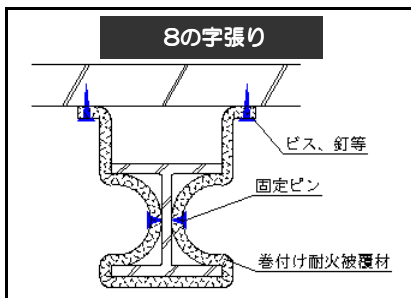
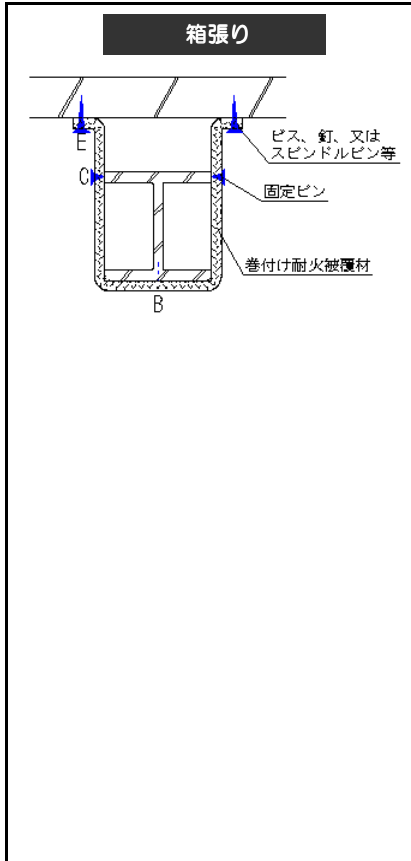
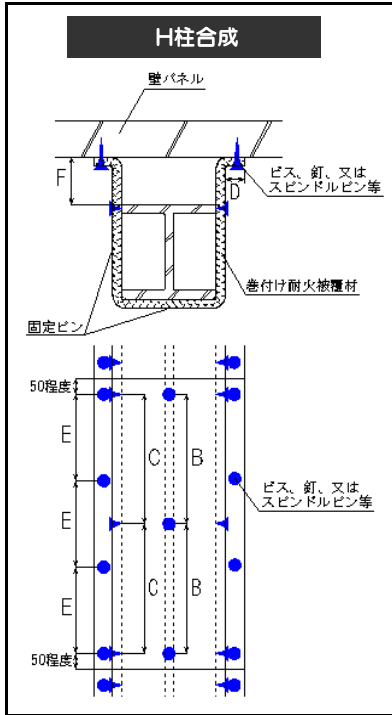
- ・鉄骨寸法：記載寸法以上 ・留付ピッチ(B、C、E)：記載寸法以下 ※補助ピン：300×300以上の鉄骨の場合、施工することが望ましい。(認定上必要なピンではないが、補強等の目的で施す。)
- ・被覆折返し(D)：記載寸法以上 ・鉄骨と壁との距離(F)：記載寸法以下(\*認定書に範囲記載なし) ・壁厚さ：記載寸法以上

注)この施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

また、施工現場の状況に応じて、補助ピンを追加施工して下さい。

H柱 (ALC、PC、ECP合成構造)



ALC合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法(mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	H-300×300×10×15	—	—	400	3本	50	300	4本	*150	75	FP060CN-0029
		H-125×125×6.5×9	—	—	※400	3本	50	300	4本	100	75	FP060CN-0206

PC合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法(mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	H-125×125×6.5×9	—	—	※400	3本	50	300	4本	100	75	FP060CN-0206

ECP合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法(mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	20	H-300×300×10×15	400	3本	—	—	50	300	4本	450	60	FP060CN-0342
		H-125×125×6.5×9 以上 H-300×300×10×15 未満	—	—	400	3本	50	300	4本	75	60	FP060CN-0209 FP060CN-0211

ALC合成												
耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法(mm)	柱背面留付		柱側面留付		壁への留付			鉄骨と壁との距離 F (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			ピッチ B (mm)	留付本数	ピッチ C (mm)	留付本数	折返し D (mm)	ピッチ E (mm)	留付本数			
1	40	制限なし	—	—	250	4本	50	250	5本	100	75	FP060CN-9393

**共通適用事項**

- ・鉄骨寸法：記載寸法以上 ・留付ピッチ(B、C、E)：記載寸法以下 ※補助ピン：300×300以上の鉄骨の場合、施工することが望ましい。(認定上必要なピンではないが、補強等の目的で施す。)
- ・被覆折返し(D)：記載寸法以上 ・鉄骨と壁との距離(F)：記載寸法以下(\*認定書に範囲記載なし) ・壁厚さ：記載寸法以上

注)この施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。  
 施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。  
 また、施工現場の状況に応じて、補助ピンを追加施工して下さい。